

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026.5.22

事業所名：放課後等デイサービス みらいいろんく満ちボール

対象人数（保護者）14人 回答者数 11人 回収 78.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2			活動内容によっては、満たしてと思っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11				日によって、預け人数、職員の数が変わるの で、それが適切がどうかはわからないが、利用 者本人は、怪我が絶えないが、フォロー体制は できてると思います。	児童発達責任者、保育士、児童指導員、理 学療法士、パート職員を配置。職員の配置 数は適切と思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっ ていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いま すか。	11				個人に合わせて、視覚化、バリアフリー等はさ れてるかと思います。伝わってる様子は見られ ます。	建物の構造上バリアフリーに出来ない為、 ジョイントマットを敷き詰めたちずりの 取り付け、見守り等で安全に配慮していま す。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います か。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	11				活動に合わせて、過ごしやすいように、配置を 変えたりすることが可能なようなので、配慮 はできてるかと思っています。	・日々の掃除・消毒を行い活動時には換気 を心掛けています。 ・活動の部屋、静養室など活動に合わせた 空間となっています。整理整頓を心掛け子 ども達が落ち着いて過ごせる様心掛けてい ます。
適切な支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	10	1			支援はは受けられてるが、専門性のところで、 どこの専門の方がどこまで支援に入ってくれて るかは不明です。	子どもの特性に応じ専門性のある支援を行 いたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する 支援内容と合っていると思いますか。	11				状況によるが、なるべく支援プログラムにそう ように活動してと思っています。	公表している支援プログラムに沿った支援 内容を継続します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的 に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※ 3）が作成されていると思いますか。	11				ちゃんと利用者本人を見たうえで、計画支援さ れるように見えます。 相談員さんと計画の違いもあり見られませ ん。	引き続き子どもの課題に沿った個別支援計 画を作成します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家 族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項 目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていま すか。	11				何かあれば対応してもらい、質問があれば丁寧 に対応してくれてと思っています。	「本人支援」「家族支援」「移行支援」等 の支援内容について丁寧に説明を心がけま す。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思います か。	11					引き続き放課後等デイサービス計画に沿っ た支援を行います。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていま すか。	11				状況にはよりますが、色々な活動は取り入れて るかと思っています。 同じ場所での活動でも活動内容を変えるといっ た工夫はされてるかと思っています。	子どもの「やりたい」「挑戦したい」の気 持ちは大切にプログラムが固定しないよう 工夫します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会がありますか。	7	1		3	デイ同士の交流があることは知っているが、学 童や児童館などとの交流に関してはよく判って いません。 少なからずあるようですが、利用日に被ることは 少ないので、なんとも言えません。同じデイ に通う子との交流が多いように見えます。	2025年度は市内放デイの交流陸上大会等 開催し他放デイとの交流は図られたと思いま す。2026年度の引き続き参加したいと思 います。児童館や地域での交流の場を回 数を増やしていきたいと思っています。
保護者への説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	11				大まかな内容、流れは説明を受けました。細か な内容についてはその都度、聞きたいことに質 問し、答えていただいています。	契約時に丁寧に説明しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	11				計画内容を見ながら、支援内容の説明は受けま したが、なかなかゆっくり説明を聞ける環境が 作れないので、事業所との時間を作るようにつ とめていきたいです。	引き続き丁寧な支援内容の説明を心がけま す。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行 われていますか。	11				意見、交流会を企画したり、ペアトレーニング の講習の機会も使ってくれたが、なかなか時間 が作れず、参加できてないこともあるので、参 加できるように努めたいと思っています。	参加しやすい日程や、内容を工夫します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状 況について共通理解ができていますか。	11				何かあれば、細やかに説明や様子を伝えても らってます。 少しずつですが、共通理解もあるかと思いま す。	送迎時や連絡システムを利用し、その日の 健康状態や活動の説明を行い保護者との共 通理解に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1			面談は、指定日以外がないので、もう少し面談 を増やしてもいいかと思っています。支援者みなさ んで、定期的に話し合いを設けるのめが欲しい です。	必要に応じ面談や子育てに関する助言等 を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				理解をいただきながら、手探りですが、支援を 受けれるように見えます。	引き続き共感的に支援ができるようにしま す。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の 交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、 きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の 機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	1	1	きょうだい向けの支援や交流、きょうだい児と の関わり方など相談に乗ってもらえる場がある とより嬉しいです。 保護者会的なものはありますが、兄弟、家族で参 加しての交流は、あまり少ないように思えま す。	・きょうだい同士の交流の場を設けられる よう何かしらのイベントを開催したいと思 います。 ・保護者会は定期的に開催しているので保 護者のニーズに沿った保護者会の開催を目 指します。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				相互のできる範囲で、対応されてるように見受けられます。	相談や申し入れに対し重要事項説明書を用いて丁寧に説明させて頂いています。 ・相談や申し入れがあった際は、迅速かつ的確に対応するよう心がけています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				何かあれば、連絡等されてると思います。	保護者に対してはLineやHUGシステム、子ども達は、特性に応じて目・耳のどちらかで情報伝達の工夫をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		1	ホームページ等を拝見してないのでわからない。 SNSというより、個々に発信されています。	保護者に対してはLineやHUGシステムを利用し情報伝達の工夫をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					個人情報取扱いは、鍵付き書庫、ウイルス対応ソフト導入等十分に留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9				一部ではありますが、訓練や対応マニュアルはさ れてるかと思います。	年に2回程度は、地震津波・火災訓練を行っています。各種マニュアルの掲示や説明を行っていききたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7				4 何回か行ってる話は聞いています。	年に2回程度は、地震津波・火災訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2			当日に支援内容が決まることがあり、どういった内容だったかは後から聞かされることが多い。事前にスケジュールは知りたいです。そうすると安全なのか、どう気をつけるべきか、双方で理解は受けれるかと思います。	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等安全管理が徹底し支援を行っていききたいと思っています。スケジュールの提示を事前にお知らせするようにします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				すぐにはないが、出迎える時に、聞かされることが多い。ので、速やかではないが丁寧に説明は受けれます。	発生した場合は速やかに連絡します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				事前に話せば、嫌がらず、不安なことなく通えてます。	引き続き子どもが安心感をもって通所できるよう心がけていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				日になりますが、活動内容によっては楽しめている様子が伺えます。	引き続き子どもが楽しく通所できるよう心がけていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				完璧ではないが、個々に寄り添い、嫌がらず、支援を受けれてると感じます。	引き続き子どもや保護者が支援に満足できるよう心がけていきたいと思っています。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。